

地域説明会・オープンハウスの実施報告

地域公共交通計画の内容について広く知っていただくため、パブリックコメントの実施期間中にあわせて地域説明会とオープンハウスを実施した。

1 開催状況

1.1 地域説明会について

1) 会議の内容

- ・地域公共交通計画（案）の内容について説明した

※具体的な記載事項について検討を行う場ではなく、パブリックコメント中の計画内容説明であるため、ワークショップ形式ではなく説明会形式により、計画に対する意見をいただいた。

2) 会議方式

時間	所要時間	分類	内容
0:00~0:10	10分	開会	挨拶、事務局紹介 資料確認、会議の流れの説明
0:10~1:10	約60分	地域公共交通計画 (案)について	計画案の内容説明 質疑応答
1:10~1:59	約50分	CoCoバスについて	申し入れ内容等の説明 質疑応答
1:59~2:00	1分	閉会	

3) 配布資料

- ・小金井市地域公共交通計画（案）の概要資料
- ・CoCoバスについて

4) 開催日時・場所

日時及び開催場所は令和6年12月23日（月）、会場は以下2箇所とした。

場所	会議室	日時
マロンホール	会議室 A	令和6年12月23日(月)14時~16時
市民会館 萌え木ホール	3階会議室 A	令和6年12月23日(月)18時~20時

※参加者の対象エリアは特に指定していない。

※概ね1時間半程度を想定。

5) 参加方法

(1) 申込対象者

市内在住・在勤・在学の方

(2) 定員数

各会場 20 名程度

(3) 申込・参加者決定方法

原則として、事前申込み制とし、定員超過の場合には抽選を行うこととした。
定員に満たなかったため、引き続き申込みを受け付けるとともに、当日受付も実施した。

- 申込期間： 令和 6 年 11 月 15 日(金)まで
- 申込方法： 申込フォーム、FAX、電話 ※以下 8 点を記載
 - ①参加希望場所（日時） ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
 - ⑥メールアドレス（ある方のみ） ⑦手話通訳の有無
 - ⑧保育の有無
- その他：
 - ・手話通訳あり
 - ・申込者には、おおむね 1 週間前に、資料を事前送付。
 - ・保育の申込者なし

6) 事前周知

- ・市報
- ・市公式ホームページ
- ・市公式 X（旧ツイッター）
- ・市公式 L I N E
- ・市政だより
- ・公共施設へのチラシ設置（公民館、図書館、集会施設、保健センター、親子あそびひろば「ゆりかご」、地域包括支援センター、障害者地域自立生活支援センター、市役所第二庁舎、体育館等）
- ・C o C o バス車内ポスター
- ・広報掲示板
- ・第一回・第二回地域懇談会の参加者に対して個別に開催案内を通知
- ・自治会、町会

※募集のチラシ等は、できる限り分かりやすい言葉と表現を用いることとし、興味を持ってもらい、参加しやすいよう工夫した。

1.2 オープンハウスについて

普段、公共交通等に関心が少ない方に対しても地域公共交通計画にて記載した事項について関心を持っていただくため、不特定多数の方が多くいる場所にてパネル展示によりオープンハウスを実施し、計画の内容及び CoCo バスに関する現在の状況について説明を行った。

1) 内容

- ・地域公共交通計画（案）の内容について

2) 配布資料

- ・パネル展示（表題含め 15 枚）
- ・地域公共交通計画（案）の概要資料

3) 開催日時・場所

場所 小金井 宮地楽器ホール

日時 令和 6 年 12 月 15 日（日）9：30～17：00

4) その他

<オープンハウスでの掲示>

- ・CoCo バスについて パネル展示（1 枚）
- ・CoCo バスだより 1 号～8 号の展示
- ・今昔写真の展示（駅・電車・バス） ※各バス事業者の協力のもと

<オープンハウス後>

- ・市役所第二庁舎の正面入口スペースにて、パブリックコメントの実施について、オープンハウスで使用したパネルを活用して展示を行った。（12 月 16 日～1 月 20 日）



2 参加者の状況とご意見

2.1 地域説明会について

1) 参加者の状況

令和6年12月23日(月)に地域説明会を小金井市内の2箇所で実施し、合計で14の方々に参加頂いた。各回の参加状況を以下に示す。

なお、事前申込者は18人(うち当日欠席は5人)、当日受付者は1人であった。

日時	会場	参加者数	参加者の属性別内訳		
			性別	年代	居住地
12月23日(月) 14時~16時	マロンホール	10人	男性5人 女性5人	40代 1人 60代 2人 70代 6人 90代 1人	東町1丁目 1人 東町3丁目 4人 本町1丁目 1人 中町1丁目 1人 緑町3丁目 2人 貫井南町4丁目 1人
12月23日(月) 18時~20時	市民会館 萌え木ホール	4人	男性4人 女性0人	50代 1人 60代 3人	前原町2丁目 1人 前原町5丁目 1人 貫井北町1丁目 1人 貫井南町1丁目 1人

2) 各会場の様子

a) マロンホール



b) 萌え木ホール



3) 会場での意見と対応

(1) 計画について

a) マロンホール

分類	No	ご意見	対応
2章 小金井市の 現状とニーズ	1	移動自体の減少、鉄道の割合が増加の根拠を示してほしい。実感として鉄道を利用している人が増えているとは思えない。鉄道利用が増えているのであれば、CoCoバスを減らしてもいいという計画となっているのではと不安を感じる。	データの特性については会場にて回答。 また、今回配布した概要版には紙面の都合上掲載を抜粋した説明である。 →資料編にてデータの補足を行う。なお、データはいずれも最新を示している。
	2	移動の実態について、データの年次が古いのではないか。代表交通手段については分担率ではなく、実数を示したほうがよいのではないか。割合ではなく実数がどのように変化しているかが重要と思う。	
	3	データの分析は年代別に見ないと意味がないのではないか。	
4章 基本方針と 目標	4	基本方針について、「誰もが」ではなく高齢者をターゲットとする必要があるのではないか。ネットワークとしてではなく、高齢者の移動の足そのものを確保してほしい。	計画書に記載のとおり、本計画では高齢者を含め、本市の公共交通を利用する方全体を対象とする。 →計画書の記載は変更なし
5章 目標達成の ための施策・ 事業	5	施策の実現性・具体性が低いように感じた。これから取り組むにしても着手が遅いのではないか。	今回配布した概要版には紙面の都合上掲載を抜粋した説明がある。 計画書に記載のとおり、既に市内で実施している施策も継続を掲げており、実現に向けてスケジュール感をもって取り組む。 →計画書の記載は変更なし
	6	運転士不足は小金井市内に留まる問題ではない。運転士を周辺地域で分け合わなくてはならない状況にもなっており、周辺の自治体と協働して都や国に働きかける取組を実施すべきではないか。	交通事業者と連携しつつ、全国市長会を通じた働きかけ等を引き続き実施する。 →計画書の記載は変更なし
	7	担い手が減少している要因を分析しているのか。給料が少ない、休みが少ないなど様々な要因が考えられる。	

分類	No	ご意見	対応
	8	バス路線が減ったり運転士が減少しているなかで、自動運転の実証実験を実施している自治体もある。小金井市でもいち早く導入すべき。システムも取り合いとなるので他地域に先駆けて実証実験を実施したほうがよいのではないか。	計画書に記載のとおり、自動運転の実装には時間がかかる状況。先進地域の取組みを注視する。 →計画書の記載は変更なし
	9	自動運転等、実証実験にはコストがかかる。他地域の実証の結果や研究会の結果を調査し、小金井市に活かしたら良いと考える。	
7章 おわりに	10	計画が策定された後も交通に関する協議会は継続するのか。CoCo バスについても協議を続けることと思うが、協議内容についてPRを行ってほしい。	引き続き市報や HP 等での公表を行う。 →計画書の記載は変更なし

b) 萌え木ホール

分類	No	ご意見	対応
5章 目標達成のための施策・事業	1	国としても人口減少、子育て支援、少子化対策を推進しており、市の現状を見ても課題と感じる一方で、本計画では効果が薄いと感じる。	地域懇談会等でも子育て世代からの課題意識を共有させていただいている。具体的な事業の推進にあたって考慮する。 →計画書の記載は変更なし
	2	CoCo バス・ミニがオープンデータ化されていないのはコスト面の課題か。	計画書に記載のとおり、CoCo バスを含め共通フォーマット化に向けた支援を検討する。 →計画書の記載は変更なし
	3	バス停環境は改善を感じないが、デジタルサイネージには感心している。インバウンド対応も期待される。	計画書に記載のとおり、デジタルサイネージ等 JR 等各所と調整を実施し拡充を図ることができないか検討を行う。 →計画書の記載は変更なし
	4	自転車利用環境の形成はどのように考えるか。特に武蔵小金井駅周辺、東小金井よりに駐輪場を整備してほしい。	計画書に記載のとおり、今後策定予定の自転車総合計画にて検討を行う。 →計画書の記載は変更なし
	5	道路環境の改善を望む。自転車が車道を走っても、歩道を走ってもいずれも危険。	
	6	歩道はよくても自転車が走る路肩部分の舗装が悪い区間が多い。車道側を走りづらい状況があるのではないか。	
	7	自転車の逆走が危険に感じる。子供に教育を行うことで、成長してもマナーが身につくし、親も気にすることになるため、学校教育が重要と考える。	小学校では警察署と協力し、自転車利用講座を実施。計画書に記載のとおり、継続したマ

分類	No	ご意見	対応
		る。	ナー教育も重要と考える。 →計画書の記載は変更なし
	8	運転士不足について、JR も自動運転の取組を行っている。バスも省人化に向けて自動運転の取組を行ったらどうか。	計画書に記載のとおり、自動運転の実装には時間がかかる状況。先進地域の取組みを注視する。 →計画書の記載は変更なし
	9	運転士として外国人の導入に賛成。車内対応等もコールセンターなどをつなぐことができるため、解決しうる場面もある。一方で、適切な試験の対応も必要。	コミュニティバス・路線バスでは道案内や車内案内を行う必要もあると聞いている。バス事業者と連携しながら動向を確認する。 →計画書の記載は変更なし
	10	運転士として外国人の活用を行うより、待遇改善等のインセンティブにより確保したほうが良いと考える。	→計画書の記載は変更なし
6章 計画の実現 にむけて	11	評価指標はアンケート調査で把握するのか。母数はどの程度で設定しているのか。	→詳細な算出方法は資料編に掲載する。
	12	コロナで様々な会合が中止となっていたが、徐々に活気が戻ってきているため、公共交通の利用も回復してくると考える。お年寄りが元気になると、医療費の削減など様々な効果がある。バスだけの収支ではなく、波及する効果も踏まえる必要がある。	本計画の推進により、生活の質等様々な効果につながると考える。目標値としては、公共交通に関する定量的に把握可能な値を設定している。 →計画書の記載は変更なし
その他	13	徐々にまちなかは良くなっていると感じる。特に小金井街道の南側など歩道が狭く、垣根が出ているところもあった。植栽の保守をやっていただいてありがたい。	植栽の維持管理は引き続き実施する。住宅についてはポスティングなどでご協力を依頼している。
	14	住宅地では、各住宅の植栽がはみ出て危ないと思うことがある。市で関与するのは難しいのか。	→計画書の記載は変更なし

(2) CoCo バスについて

※ご意見への対応は今後の部会にて検討

a) マロンホール

分類	No	ご意見
路線の維持	1	東町循環が廃止となると、小田急バスも本数が少ないため更に移動しづらくなる。高齢者の外出頻度が減少してしまうのではないかな。
路線の維持	2	家族が通学に CoCo バスを利用している。学校で自転車通学を禁止しており、通学が困難となるため路線を維持してほしい。
路線の維持	3	近年の CoCo バスの利用状況はどうか。路線としては一定数が利用しており、撤退には至らない印象である。
路線の維持	4	バスを維持するためには利用者を確保しなければならない。利用の喚起が必要と考える。
運行ルート	5	東町からも武蔵小金井駅へ向かうニーズが高い。野川・七軒家循環のルートを拡大し、東町から武蔵小金井駅へ向かうルートを作って欲しい。
運行ルート	6	新庁舎の完成時にも東町からのアクセスは確保してほしい。
運行ルート	7	他のコミュニティバスと同様に、バス停からの圏域を設定してルートを設定すべきと考える。
運行ルート	8	東小金井は幅員が狭く、栗山通りは CoCo バスが走りづらい印象。まず道の拡幅が必要ではないか。拡幅ができないのであれば、一方通行にするなどしたらどうか。(ルート変更後栗山通りは走行していない)
車両	9	CoCo バス・ミニのような車体でも運行を維持していただきたい。乗り残しがあつたとしてもバスがなくなるよりはよい。
地域の声の収集	10	東町 1 丁目、5 丁目の高齢者が特に移動に困っている。東センターで地域懇談会を開催し、高齢者の声を聞き取ったほうがよいのではないかな。
地域の声の収集	11	東町にはマロンホールですら来ることが難しい高齢者が多い。住宅近くで聞き取りを行うなどしてはどうか。
運賃等	12	小金井市として交通に関する予算を削減したいのか、高齢者の移動の利便性を上げたいのか。CoCo バスは介護保険被保険者証を所持していないと高齢者割引が受けられない。持っていることを認識していない方もいる。本来の用途と異なるし、持ち運びしにくいいため、カードなどにしたほうがよい。そもそも 100 円としたらよい。
収支等	13	ぶんバスは 100 円で乗れる。CoCo バスよりもサービスが高く、利用者数が増加している。武蔵野市のコミュニティバスの運営はうまく行っているという報道を耳にしたことがある。参考としたらどうか。
今後の対応	14	R8.9 までの協議中は、CoCo バスの減便や路線の廃止は想定されないのか。協議中にバスがなくなってしまった場合の応急処置を確保いただかないと、不安である。
今後の対応	15	CoCo バスの中町循環が廃止することも知らない方が多い。市報に載せたほうがよいのではないかな。

b) 萌え木ホール

分類	No	ご意見
路線の維持	1	北東部循環をたまに利用することがある。東町循環を見ると、比較して明らかに利用者が少なく感じる。ともすればこのような廃止の申し出があるのは仕方ないとも感じる。一方で、一旦運行頻度などのサービスを上げてみる施策ができるのではないかと。それでも利用がないのであれば、見直しもやむを得ない。
路線の維持	2	つくば観光交通からは同様の申し出があるか。
運行頻度	3	望ましい運行本数などのアンケートを行っているか。個人的には 15 分に 1 本あるとよい。大きな車両が頻度少なく走るより、ミニのような小さい車両でも頻度が高く走っていたほうがよい。
運行形態	4	全額自治体補助での運行として、白ナンバーにしたらどうか。運行管理者は設置する必要がある認識。
運転士確保	5	ダイヤ改正により路線バスの深夜便がなくなった。路線が存続していても便数が減るようなことがあり、運転士不足が身近な問題と感じた。
運転士確保	6	タクシードライバーに話を聞いたところ、コロナ後回復していなかったが、最近では車両のほうは足りないような状況と聞いている。ドライバーが減り続けているのではなく、担い手確保のための様々な取組が結果として現れている部分もあるのではないかと。
運転士確保	7	運転士は朝晩など不規則な勤務となる。特別な手当などはあるのか。女性や元気な高齢者が働きやすいようにしたらよい。働く環境と待遇の双方を向上させることが重要。
運転士確保	8	2024 年問題と待遇改善のバランスをとる必要がある認識。国としてもどのように考えているか疑問である。
今後の対応	9	他自治体も同様な問題が生じていると考えられる。自治体同士で連携して会議体を設けるなどして解決できる課題はないか。

2.2 オープンハウスについて

1) 来場者の状況

当日の来場者は以下のとおり。

来場者	173 人
うちアンケート回答者	42 人

2) 会場の様子

当日の様子は以下のとおり。



オープンハウスの様子（小金井 宮地楽器ホール）

2.3 いただいた意見

来場者に対して行ったアンケートにていただいた回答は以下のとおり。

(1) パネルのわかりやすさ

はい	39 人
いいえ	2 人
その他(普通)	1 人

(2) 印象に残った施策・重要と思った施策

施策 1-1 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築	2人
施策 1-2 コミュニティバスの効果的な活用	3人
施策 1-3 公共交通不便地域への対応	1人
施策 1-4 公共交通の利用促進	2人
施策 1-5 公共交通の担い手不足への対応	4人
施策 2-1 移動環境の改善	0人
施策 2-2 公共交通利用マナーの向上	0人
施策 2-3 情報提供の充実化	2人
施策 2-4 歩行空間・自転車利用環境の形成	1人
施策 3-1 乗り継ぎ・乗り換え機能の強化	1人
施策 3-2 乗り継ぎ・乗り換え拠点における情報提供の充実化	0人
施策 4-1 新たな技術等の活用に向けた検討	0人
施策 4-2 公共交通に関するオープンデータのまちづくりへの活用	1人
施策 4-3 環境にやさしい車両の導入支援	2人
その他(全体、今昔写真、推進体制)	3人
無回答	21人

(3) 自由意見の抜粋

- ・バスの利用をもっとしやすいように進めてほしいと感じた。ベビーカーがあるとバスに乗るかとても迷うので。
- ・自転車が安心して走れる街作りを。車優先の街・道路はやめてほしい。
- ・ライドシェアなど、小さな街に適した方法を考えてください。
- ・生活に必要な交通手段を選びやすいとよいかと思います。ライドシェアが遅れていると思います。
- ・これからもっと人が減り、年配の人も増えて運転できる人が減り、バスやタクシーを運転する人が減り、もっと難しくなると思います。いつかロボットバスができたらいい。
- ・免許返納後、バスを利用。色々行きたいが、バスがなくタクシーを利用しているので、きめ細かい路線をお願いしたい。
- ・地図アプリで見やすいものがあったら嬉しいです。
- ・地域交通を支えていけるように自治体と民間事業者で連携して頑張っていっていただきたいです。
- ・施策 2-3 にあったリアルタイムによる情報提供はありがたい。今後スマホアプリ等でも見られると嬉しいです。1973年の武蔵小金井駅周辺の貴重な写真に感激しました。昔の写真をたくさん拝見したいです。
- ・情報提供の充実化が進んだのはよかった。公共交通の担い手不足は深刻だと感じた。無電柱化の施策がより進むといいなと思った。
- ・自治体と企業、そして市民の方が協力して地域交通の改善に向けて話し合う場があることをしました。様々な目線で地域の活性化につながる一手でもあり、とても良いと思います。